

テーマ展「暮らしの中の花」の開催にあたり

福島県歴史資料館

福島県歴史資料館では、平成13年度より収蔵資料展の活性化を図るためテーマを設定して、テーマ展を年2、3回行っています。昨年度は「ふくしまの自然環境」「錦絵の描く世界」「旅の風景」の3回行い、県民の方には非常に好評でした。テーマは担当者に任されていますが、切り口を時事問題と関連させることにより、新たな観覧者層の開拓やリピーター獲得につながるようです。

平成16年度の第1回は「ふくしまの自然環境」をうけて「暮らしの中の花」を企画しました。花は現代人より江戸時代の人々の方が暮らしの中でより身近な存在であり、現代は江戸時代より季節感自体が薄れています。また、産業の発展とともに自然環境も破壊されており、植生も変わっています。花は人の心を豊かにし、生活に潤いを与えてくれるものです。現在もガーデニング・ブームですが、江戸時代後期にもありました。ふくしまに関係する江戸時代の花道書・茶道書・花鳥画・博物図譜など花に関するあらゆる資料を80点ほど展示します。ご覧になった方が自然の大切さを再認識していただければ幸いです。

関連イベントとしては、ギャラリートークはもとより、市民参加型で地元華道家により生け花をロビーに飾り、華やかな雰囲気 연출します。また、花器や茶器を作製した板谷波山とその妻・鈴木まる（現会津坂下町出身）を記録風に描いた「HAZAN」を上映し、ふくしまの女性史という視点からも問題を提示します。この他、陶芸家の清水卯一や近藤悠三の記録映画を上映します。様々な客層の人に足を運んでもらえる広がりのある普及活動を試みます。

収蔵資料テーマ展「暮らしの中の花」

展示期間 平成16年4月23日（金）～7月19日（月）

展示場所 福島県歴史資料館 1階展示室 JR福島駅からバスで

問合せ 福島県歴史資料館 〒960-8116 福島市春日町5-54 TEL 024-534-9193